



WWFジャパン 森林セミナー

「世界の潮流からみる「サステナブル調達」のあり方

2021年4月6日

株式会社ブリヂストン

Gサステナビリティ推進部長

稲継 明宏

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

使命

最高の品質で社会に貢献

ビジョン

2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

Solutions for your journey

安心(Care), 信頼(Confidence), そして創造力(Creativity)

社会価値の創造

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Our Way to Serve



環境中長期目標

社会価値・顧客価値の両立 × 競争優位の獲得
(安全性・環境性・経済性・生産性)

モビリティシステムを“支える”
BRIDGESTONE T&DPaaS

共創・イノベーションでソリューションを

サステナビリティを中核とした独自のビジネスモデル
モビリティ貢献、サーキュラーエコノミー貢献、CO₂削減貢献

顧客価値の創造

お客様の困りごと解決

お客様とともに新たな価値を創出

事業戦略

Our Way to Serve 基盤領域

コンプライアンス
公正な競争

BCP (事業継続計画)
リスクマネジメント

人権・労働慣行

労働安全・衛生

調達

品質・お客様価値

ガバナンス

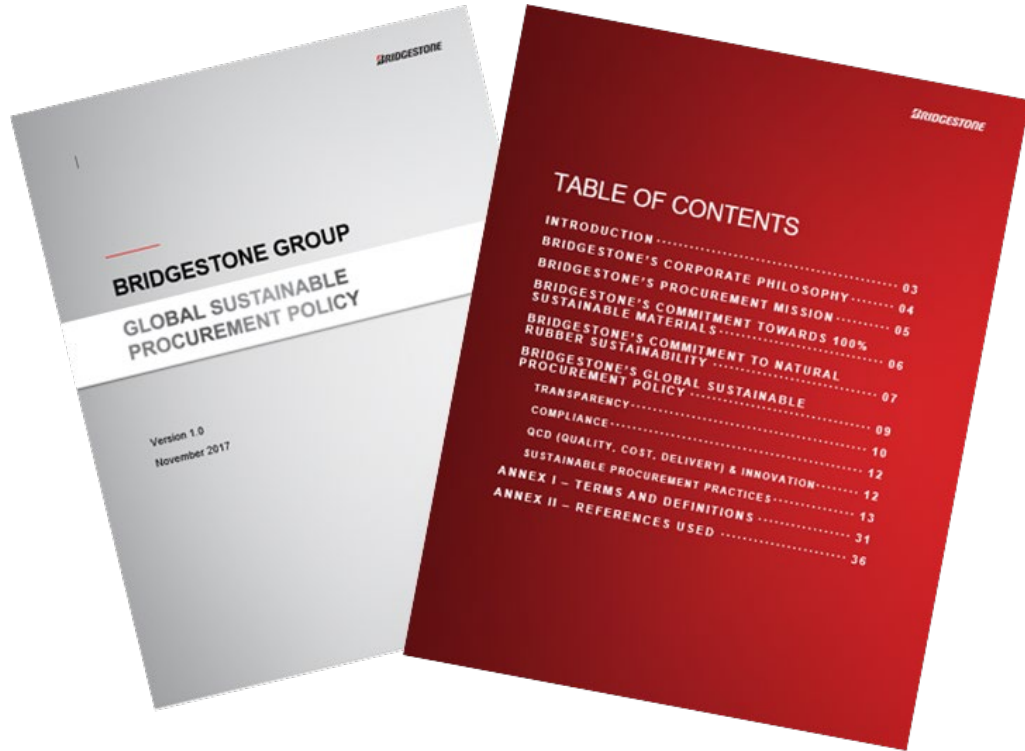
約束を守り実行し、相互理解と信頼を構築する

変化に対応する適正な意思決定と実行の仕組み

価値共創の仕組み

持続可能な調達に向けて

■ グローバルサステナブル調達ポリシー



2018年2月 全**12**言語 で発行

■ お取引先様との取り組み

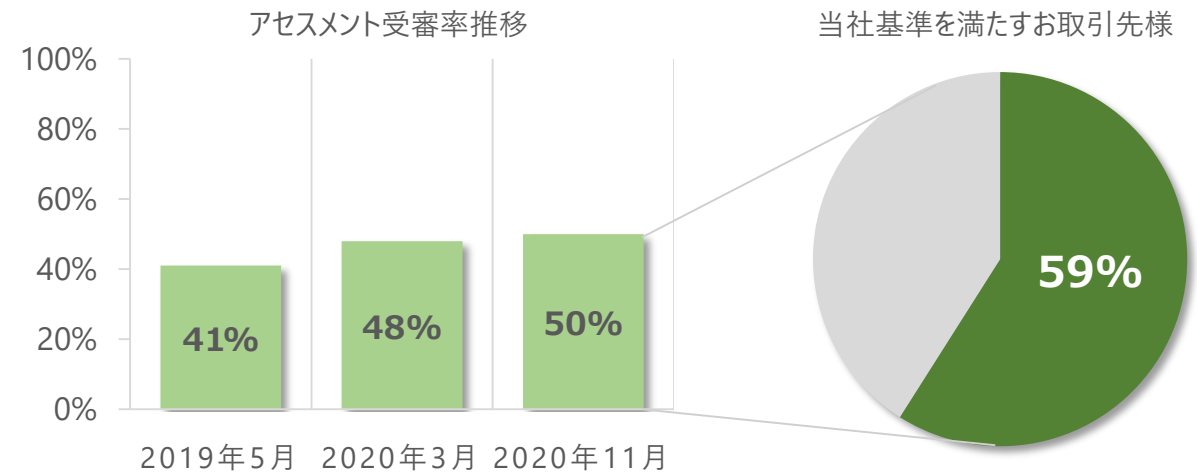


■ 第三者評価機関によるアセスメントの実施

50% のタイヤ原材料のお取引先様評価を完了 (2020年11月時点)

90% 以上の天然ゴムのお取引先様をカバー (2019年購入量ベース)

59% のお取引先様が当社グループが定める持続可能な調達活動の基準を満たす



■ お取引先様の取り組み向上への支援 (2019年実績)

3か所 の天然ゴム生産工場を訪問し、ESGの改善活動を支援

65社 のお取引先様に参加いただき、持続可能な調達のためのセミナーを実施

グローバルサステナブル調達ポリシー

目次

はじめに
ブリヂストンの企業理念
ブリヂストンの調達ミッション
100%サステナブルマテリアル化に向けて

グローバルサステナブル調達ポリシー

1. 透明性 (トレーサビリティ, ガバナンス)
2. コンプライアンス
3. QCD (品質、コスト、供給) & イノベーション
4. 持続可能な調達活動
 - (1) 環境配慮型調達
 - (2) 人権の尊重
 - (3) 労働安全・衛生、および防災
 - (4) レジリエンス

付属書 1: 用語とその定義

付属書 2: 参照資料

主な内容

トレーサビリティ

環境マネジメントシステム

森林破壊ネットゼロ

生物多様性への配慮

水管理

資源の保全と廃棄物削減

エネルギー使用量と温室効果ガス
排出の削減

化学物質管理

土地の権利

(記載例): 森林破壊ネットゼロ

必ず実施いただきたい事項 (抜粋)

- 森林保護に関する全ての法令の遵守
- 最上流および生産者についての情報収集
- **原生林の森林破壊防止**
- **HCV 地域と HCS 地域の保護および保存**
- FPIC 原則への遵守

実施をお願いしたい事項 (抜粋)

- お取引先様の方針への、HCV・HCS 地域の保護と保存および期限を定めた実行計画を含む「森林破壊ゼロ」の織り込み
- 損傷を受けた森林や荒廃した森林の負荷低減や再生計画などの取り組みへの支援
- 国連の持続可能な開発目標(SDGs) (例: 目標 15- 陸の豊かさを守ろう) 達成への賛同

天然ゴムに関連して盛り込んだ主要な課題

- トレーサビリティの向上
- 森林破壊ネットゼロ
- 泥炭地帯の開発禁止
- 土地の権利 (FPICの原則)

グローバルサステナブル調達ポリシーの発行

CSR調達ガイドライン 2008年発行

社会のニーズに合わせて
改訂

グローバルサステナブル調達ポリシー 2018年2月発行

- グループ共通のポリシーとして発行、全12言語で展開
- お取引先様との協働で、サプライチェーン全体で改善していく
- ステークホルダーからのフィードバックを踏まえて内容を改定
- 社内外専門家の多様な意見を反映
 - コンサルタント、NGOs、社内グローバルメンバー

社会のニーズに合わせて
改訂

グローバルサステナブル調達ポリシー 改定 2021年5月見込

■ 策定プロセス

2016年 改訂検討着手、検討のためのグローバルワーキンググループ発足

■ 社会からの期待・要求の調査

- 持続可能性に配慮した調達コードやISO26000/20400など調達に関するガイドラインをはじめ、環境や人権、安全といった側面からも調達活動に求められる課題やニーズを幅広く調査

■ ステークホルダーレビュー

- 調達機能、環境機能、サステナビリティ機能を中心としたグローバルワーキンググループにて内容を検討、ドラフトを起案
- コンサルタント、NGO、原材料サプライヤー、天然ゴム農家、主要なお客様など、多くのステークホルダーの皆様と内容についてレビュー
- いただいたご意見を反映し、業界標準やベストプラクティスに沿っているか確認

■ 承認・発行

- グローバル経営執行会議(Global EXCO)にて、策定目的、重点事項など、主な内容について定期的に報告、内容について審議
- 約1年間の審議を踏まえて内容について承認
- 社内外への浸透計画を策定したうえで公開実施

天然ゴムのサステナビリティに向けた取り組み

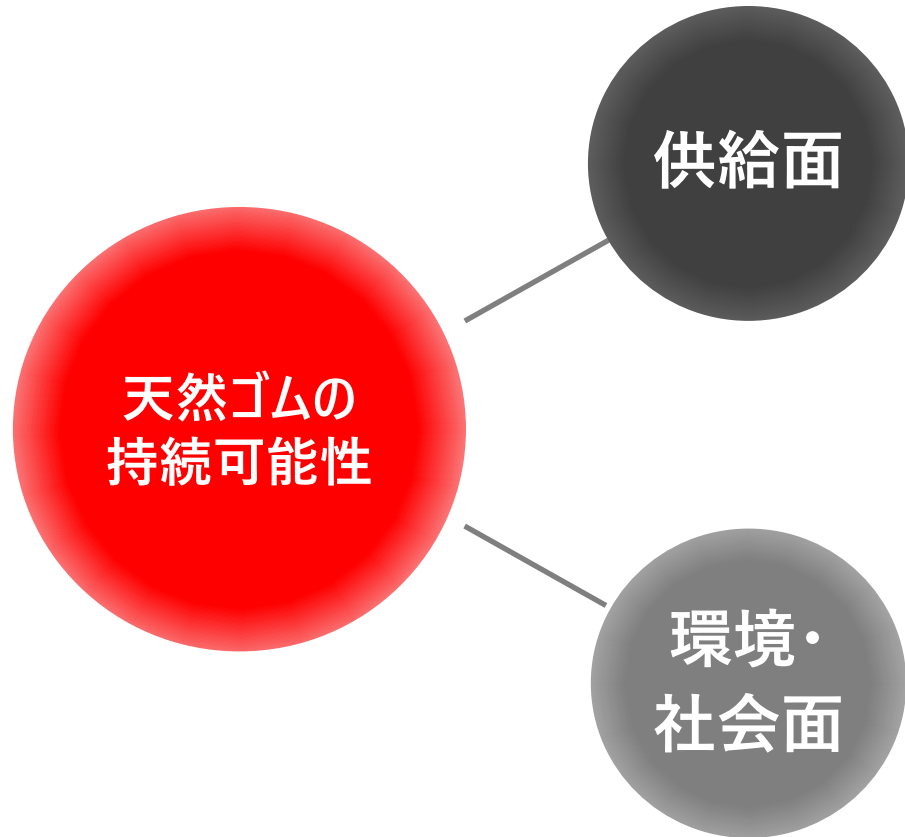
8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



- 8.4** 2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、持続可能な消費と生産に関する枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。
- 12.2** 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。



- 資源効率の向上～持続可能な資源利用
- 生産性の向上
- 病害対策
- 天然ゴム資源の拡充、多様化

- 新たな森林破壊の抑制
- ビジネスと人権問題
- サプライチェーンの透明性



天然ゴムのサステナビリティに向けた取り組み

■ 当社での取り組み

■ 小規模農家支援活動

自社農園で開発した生産性向上技術のトレーニング及び高収率苗木の提供



■ ビッグデータを活用したゴム農園の植林計画最適化システムを開発

30年以上先までの植林計画を最適化することで、長期にわたって農園の単位面積あたりの収量向上・平準化を実現し、持続可能な安定供給に貢献

■ パートナーとの共創・協働事例

■ WWF様と持続可能な天然ゴムに関する取り組みを開始



■ ISID(電通国際情報サービス)様とAIを活用した天然ゴム病害診断技術を共同開発

病害判定のポイントをAIの画像解析に学習させ、農園全体をドローンで撮影した画像データに基づいて罹病木を判定し病害の早期発見を実現

■ 業界での取り組み



GLOBAL PLATFORM FOR SUSTAINABLE NATURAL RUBBER



■ マルチステークホルダープラットフォーム

Executive committeeメンバーとして発足時より参画

2020年年次総会にて主に下記の内容を採択

- 業界統一のポリシー要求項目
- 中小規模農家の代表者のメンバー入会

